

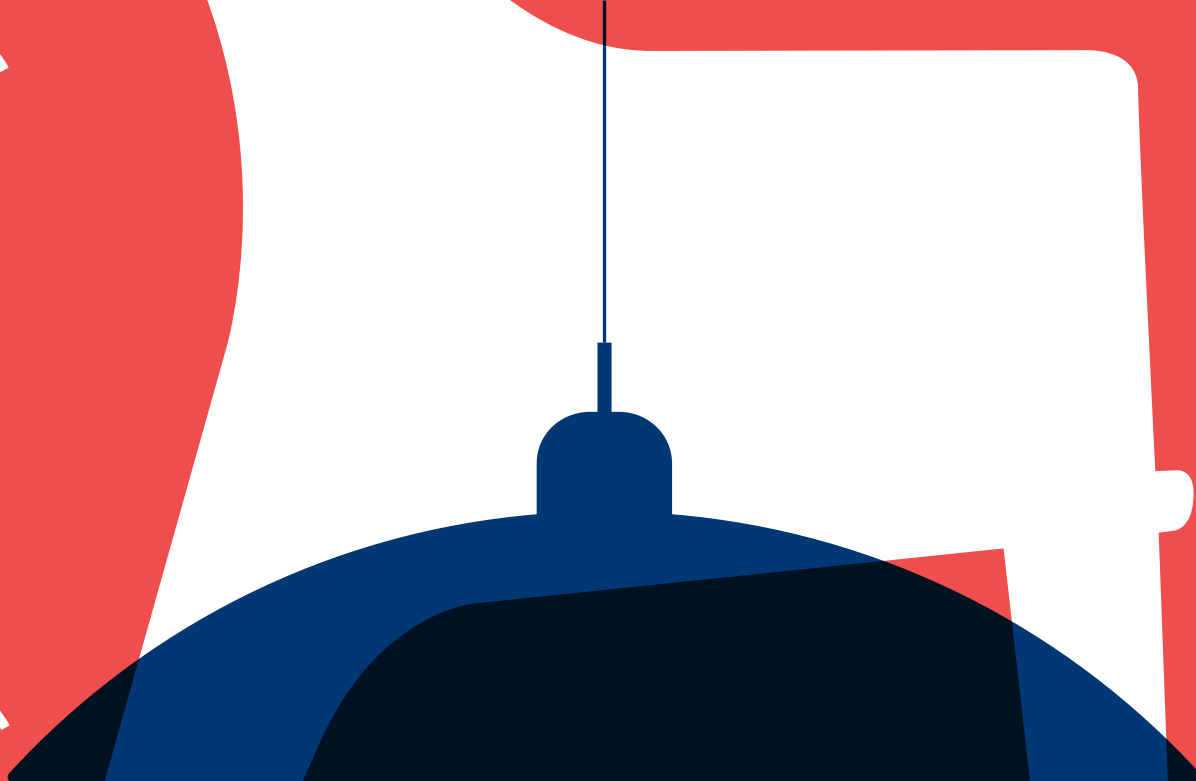
APRIL 28 -  
MAY 9, 2022

MAISON & OBJET PARIS

#MAISON  
ETOBJET

デザイン・ダイアローグ

# DESIGN DIALOGUES



ライフスタイルの、その先を。

## メゾン・エ・オブジェ・パリ展

2022年4月28日(木) - 5月9日(月) 京都高島屋 7階グランドホール

※入場時間: 午前10時~午後6時30分(午後7時閉場) ※最終日5月9日(月)は午後3時30分まで(午後4時閉場)

入場料(税込) 一般、大学・高校生500円(400円)、中学生以下無料

※都合により、催し内容・会期等が変更または中止になる場合がございます。最新の情報は京都高島屋のホームページをご覧ください。

※( )内は前売り料金。前売り券は京都高島屋7階商品券サロン、ローソンチケット(Lコード:53878)にて3月16日(水)から4月27日(水)までお求めいただけます。

主催:高島屋、朝日新聞社 企画監修:SAFI(メゾン・エ・オブジェ主催者) 企画協力:株式会社デアイ(メゾン・エ・オブジェ日本総代理店) 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。ご入場の際はマスクの着用、手指の消毒をお願いします。

 **Takashimaya** KYOTO

TEL075-221-8811

APRIL 28 -  
MAY 9, 2022

MAISON & OBJET PARIS

#MAISON  
ETOBJET

# デザイン・ダイアログ

## 「メゾン・エ・オブジェ」とは

毎年パリで開催される国際展示会「メゾン・エ・オブジェ」。このたび高島屋では、世界のインテリアデザインのトレンドを牽引するトレードショーを編集した展覧会を開催します。「メゾン・エ・オブジェ」の主催者SAFIが総指揮をとる本展。フランス人キュレーターが手掛ける会場構成も、見どころのひとつです。全3部構成のうち、1部と3部は、フランソワ・ルブラン・ディ・シシリア氏がキュレーションを担当し、本展のハイライトともいえる2部と全会場装飾は、エリザベス・ルリッシュ氏が担います。日仏クリエイティブ界のオーソリティ、ジャンリュック・コロナ・ディストリア氏をコーディネーターに迎えて「デザイン・ダイアログ」をテーマに、デザインを通じての多様な〈対話〉の姿を模索します。

## 〈対話〉を生み出すものたち

「メゾン・エ・オブジェ」は単なる展示会ではありません。デザインを生み出す逸材

に、常にスポットを当ててきました。本展でも多くのクリエイター存在に注目します。1部では、過去に「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」に輝き、めざましい活躍を遂げるクリエイターのなかから21名の作品が集結。「椅子」と「照明」の代表作を用いた、珠玉のデザイン空間が会場に登場します。

その熟成した世界観から一転、今日のクリエイションの進化を表現するのは、2部「ホワッツ・ニュー」。パリのメゾン・エ・オブジェ出展者の新作コレクションによる、感度の高いキュレーションをご覧ください。

3部は次世代の創作活動に贈られる「ライジング・タレント・アワード」を講義、受賞

者の作品を展示します。今年度は日本の新鋭クリエイターたちが選考されています。彼らの内なる部分から表出されたクリエイションと、希代のキュレーションにより、会場にいくつもの〈対話〉が生まれていきます。

## 明日をつなぐ デザインの体験

会場のイントロダクションには、かつて高島屋で開催されたシャルロット・ペリアン展「選擇・傳統・創造」(1941年)から不朽の名作も登場。「ル・コルビュジェ、レジェ、ペリアン三人展」(1955年)をはじめ、高島屋とフランスは、長年ともに歩み、デザインという表現で、少し先の暮らしの在り方を示してきました。世界中が大きな変化の時代を歩んでいるいま。私たちは、すでに気づいています。生きていくために必要なものは、それほど多くないことに。ならば、より心地よいものを。限りなく美しいものを。デザインの力を享受する「メゾン・エ・オブジェ」の体験が、ニューノーマルな明日へのメッセージを届けます。



1999年度  
デザイナー・オブ・ザ・イヤー受賞  
Paola Navone 氏の作品。

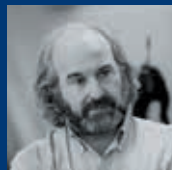
「メゾン・エ・オブジェ・パリ展」を司るキュレーターたち



©Jean-Marc Palisse  
[キュレーター]  
エリザベス・ルリッシュ



©danyeffet  
[キュレーター]  
フランソワ・ルブラン・  
ディ・シシリア



[総合ディレクション]  
ジャンリュック・コロナ・  
ディストリア

展覧会の  
詳しい情報



安全・安心のために  
お客様へお願い

●体調が悪い場合は、ご入場をご遠慮ください。●ご入場の際はマスクの着用、手指の消毒をお願いします。●一人もしくは少人数でのご入場をお願いします。●ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。※会場の混雑状況により、入場制限をさせていただく場合がございます。

 **Takashimaya** KYOTO  
TEL075-221-8811

